

(様式1)

校種	小・中	学校番号	50	学校名	宇都宮市立陽東小学校
----	-----	------	----	-----	------------

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重」の精神を基盤とし、豊かな心の陶冶、自主性と創造性の伸長、体力・気力の充実を通し、心身ともに健康で、たくましく生きる創造的実践力をもつ子供の育成を図る。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- 思いやりのある心豊かな子
- 進んで学び創意工夫する子
- 元気で明るくがんばる子
- きまりを守り責任を果たす子

【合言葉】

元気なあいさつ(やる気)
だれにも親切(思いやり)
きれいな陽東(根気)

2 学校経営の理念

人間尊重の精神を基盤とした全教育活動を通して、学校教育目標の具現化を進め、創立47年の本校のよき伝統と校風を引き継ぎつつ、すべての教職員の力を結集し、これからの時代を生きる陽東小児童一人一人の確かな成長を保障するため、学校・保護者・地域社会が信頼し合い、相互に関わり合いながら充実した学校経営を推進する。

【学校経営のテーマ】 「楽しく、心豊かで、魅力ある学校づくり」

学校は、子どもたちが安心して学び合い、友達や教職員との関わりの中で伸びていける場である。また、教職員にとっては、その専門性を発揮しながら協働し、同僚性を培っていこうとする場であるという観点から本テーマを設定した。具体的には、どの子にも、どの職員にも居場所があり、一人一人のよさや可能性を互いの関わりの中で伸ばしていこうとする学校であり、保護者・地域との関わりを大切にして、信頼と協力で結ばれた学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針

[陽東地域学校園教育ビジョン]

地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、
確かな学力の定着を図り、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

(1) 組織的に機能する学校

- ・ 学校が組織的に機能するよう、「学校マネジメントシステム」や「教職員評価制度」等を活用し、様々な立場からの経営参画意識を高めるとともに、教職員それぞれの個性や能力を発揮した職務が遂行されるようにすることで学校力を一層の向上を図る。
- ・ 「子どもの健康・安全の充実はすべての教育活動に優先する。」ということを第一に考え、自他の生命を尊重し、感染症への適切な対応や安全な学校環境の整備に努める。
- ・ 特別支援教育の考え方や方法を生かし、個に応じた支援ができるように努める。

(2) 知・徳・体の調和のとれた「成長し続けるための基盤を培う」教育の実践

- ・ 基礎・基本を確実に習得させ、それらを活用する力を育成するとともに、目標を持ち、自ら学ぶ意欲を育む。
- ・ 全ての学習を支える情報活用能力を身に付けるためツールとして、GIGAスクールで導入された1人1台端末の活用を進めていく。
- ・ 心の教育の充実により、自信や自己有用感、規範意識、思いやりを育成するとともに、たくましさを涵養する。
- ・ 生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。
- ・ 地域学校園の教育ビジョンを踏まえ、小中一貫教育の推進に努める。

(3) 教職員の資質・能力の向上

- ・ 新学習指導要領の趣旨を具現化した授業実践に向け、指導力・授業力の向上を図る。
- ・ 一人一人の学級経営力を高めるとともに、学年内の連携を図った指導を工夫する。
- ・ 児童が「個別最適な学び」を進められるよう、学習内容の確実な定着を図る観点や、その理解を深め広げる学習を充実させる観点からカリキュラム・マネジメントの充実・強化を進める。

(4) 家庭・地域・社会と連携した社会に開かれた教育課程の実現

- ・ 学校マネジメントシステムの公開や教育活動の広報を行うとともに、地域協議会や学校ボランティアとの連携を図る双方向型の活動の一層の充実を図る。
- ・ 保護者、地域、社会とのかかわりを重視し、体験活動の充実等を図る。

(5) 「働きがい」と「働きやすさ」を両立する働き方の推進

- ・ 校務・事務の効率化と適正化のため、個々の業務の改善やICTの活用を推進する。
- ・ 高い同僚性のもと、児童指導や学習指導の工夫改善が職員間で共有できるように努める。
- ・ 教職員を目指すボランティアなどを積極的に受け入れ、魅力を体感してもらう。

4 教育課程編成の方針

本校においては、改訂された学習指導要領及び上述した学校経営目標、理念、具体策を具現化するために、下記のような方針をもとに教育課程を編成し実施する。

- (1) 教科等横断的な視点を踏まえ、各教科等の関連を年間指導計画に位置付けるなどしながら、教育内容や時間の適切な配分に努める。
- (2) 実施に当たっては随時その状況を評価し、児童の実態や社会的な状況等に合わせて改善を図ることを繰り返すものとする。
- (3) 校内外の人的、物的体制を最大限活用し、児童への教育効果を高める内容とする。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営 「楽しく、心豊かで、魅力ある学校づくり」
- (2) 学習指導 「学ぶことを楽しみ 生活を豊かにする 子供の育成」
- (3) 児童生徒指導 「自ら考え、適切な判断と行動ができる児童生徒の育成」
【陽東地域学校園テーマ】
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）
「進んで体を動かそうとする意欲をもち、自らの健康・体力の向上に励む児童の育成」
一運動量が多く、楽しみながら体力が高められる教科体育・体育的行事の工夫

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

ア 「元気なあいさつ」の実践を通して自主性を育み、自分のよさに気付き、やる気のある子を育てる。

- ・ あいさつを通して、豊かな人間関係を築こうとする態度を養う。
- ・ 基本的な生活習慣を身に付け、社会的規範意識をもち豊かな人間性や社会性を養う。
- ・ 自分のよさに気付き、自信をもって様々な事柄に取り組もうとする態度を養う。

イ 「だれにも親切」の実践を通し、自他を大切にする思いやりのある子の育成を図る。

- ・ 特別支援教育を推進し、励まし合い・助け合い・喜び合う共同体意識の高揚を図る。
- ・ 人権意識の高揚を図る。〈あらゆる偏見や差別・いじめをしない、させない、許さない〉
- ・ 縦割り班活動を進め、互いのよさを認め合い、豊かな人間関係を築く力を養う。

ウ 「きれいな陽東」の実践を通して、みんなのために根気よく活動する態度とともに、折れない心や、やり抜く心などを養う。

- ・ 仲間とともに額に汗して働くことやボランティア活動を実践しようとする意欲をもたせる。

- ・ 学校や地域の環境に関心をもち、自己の責任を考えて行動できる態度を育成する。
- (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）
- 3つの合言葉の取り組みを「認め励ます教育」の一環に位置付け、行いや努力を見取り、積極的に児童一人一人のよさを認め励ますことにより、児童の自信や自己有用感を高め、望ましい行動への意欲付けを図る。

ア 「元気なあいさつ」

- ◇① あいさつ運動週間の実施〈各委員会、学年〉
- ② あいさつの果たす役割の意識づけ〈道徳〉
- ③ あいさつを実践する時と場の設定と指導〈学級活動〉
- ④ 自信をもって取り組むための場の設定〈学び合う授業の実践〉

イ 「だれにも親切」

- ① 「たんぼぼ学級」との交流
- ② 人権教育の充実〈人権教室の開催、人権週間における啓発活動、いじめ0運動〉
- ◇③ 委員会活動の取り組み〈下級生への読み聞かせ（図書）、集会活動（計画）〉
- ◇④ 縦割り班活動（清掃、児童会、1年生を迎える会、6年生を送る会、陽東フェスタ）
- ◇⑤ 地域の施設との交流活動〈幼稚園・保育園（1年）、高齢者との昼食会（ふれあい食事会・3年）、宇都宮大学・企業等の連携（学年）〉

ウ 「きれいな陽東」

- ① ボランティア活動〈高齢者とのふれあい食事会（5・6年）、落ち葉清掃（全校）、朝の清掃（6年）〉
- ◇② 環境活動（学校ISOの推進）〈グリーンカーテンの設置（飼育栽培）〉
- ◇③ 潤いのある環境づくり
 - ・花壇づくりと整備（飼育栽培委員会）
 - ・小動物の世話（飼育栽培委員会）
 - ・教材園、観察園の充実（理科）
 - ・プランターによる花いっぱい活動（縦割り班）
 - ・学校農園（各学年、農園ボランティア）
 - ・清掃活動の充実：指導と地域、PTAの支援（清掃）
 - ・校内掲示と植物の設置（掲示、飼育栽培委員会、学校支援ボランティア）

8 本市の重点施策・事業との関連

- (1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）
- ① 基本的考え…社会に開かれた学校づくりを推進するために、陽東地区まちづくり協議会の一員として、学校から地域への発信・協働等について、さらに取組を進める。
 - ② 主な取組
 - ・ ボランティアとの連携を図った教育活動の推進及び定期的な情報交換の場の確保に努める。
 - ・ 陽東小地域協議会と連携し、地域住民・家庭と一体となった地域に根差した取組を推進する。
- (2) 小中一貫教育・地域学校園
- ① 基本的考え…小中一貫教育・地域学校園のねらいを達成するために、モデル地域学校園としてこれまで積み上げてきたものを土台としながら各部会の活動を随時見直し、より効果的な取組を進める。
 - ② 主な取組
 - ・ 分科会ごとの重点目標と具体策を設定し、学校での取組を推進する。
 - ・ 全体研修会や分科会での話し合いと情報交換を通してより一層学校間の連携を図る。
- (3) 不登校対策
- ① 基本的考え…学校として不登校になりにくい魅力ある学校づくりを推進するために、「新たな不登校」を生まない学級経営や、初期段階からの組織的な対応に努める。
 - ② 主な取組
 - ・ 児童に関する情報共有の場を数多く設け、全職員で共通理解を図るとともに、早い段階での初期対応に努める。

- ・ 安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団の育成に努める

(4) G I G Aスクール構想

- ① 基本的な考え…1人1台の端末環境を生かし、これからの学校教育を支える基盤的なツールとしてのICTの活用を始めていく。
- ② 主な取組
 - ・ 学年や発達段階に応じ教材やICT等を効果的に活用しながら、授業を展開・改善する。
 - ・ オンラインによる家庭学習について、発達段階に応じた指導を継続する。
 - ・ 児童が文具としてICTを活用し、個別化した学びや協働的な学び、学校生活全般、家庭学習等を行えるよう、授業デザインや教師のコーディネート力を高める。

(5) 宇都宮学

- ① 基本的な考え…宇都宮の歴史・文化・未来について知り、郷土を愛する心を養う。
- ② 主な取組
 - ・ 学習指導や学校行事の中で、宇都宮について意図的・計画的に指導し、より深く理解できるようにする。
 - ・ LRTの敷設など、陽東地域が市の施策により発展することについて知る機会を設ける。